

# 日清オイリオグループ株式会社 決算補足資料

## 2022年度（2023年3月期） 第1四半期

1. 決算概要
  - 1-1. 2022年度 第1四半期決算
  - 1-2. セグメント別実績
  - 1-3. セグメント情報：売上高・営業利益の増減要因（対前年同期比）
  - 1-4. セグメント情報詳細
2. 2022年度業績見通し
  - 2-1. 2022年度業績予想
  - 2-2. 2022年度セグメント別見通し
  - 2-3. セグメント情報：売上高・営業利益の増減要因 通期見通し（対前期比）

# 1. 決算概要

## 1-1. 2022年度 第1四半期決算

単位：百万円

	2022年度 第1四半期	2021年度 第1四半期	前年同期比	
			増減額	増減率
売上高	138,224	95,175	+43,048	+45.2%
海外売上高比率	25.4%	19.6%	+5.8P	-
営業利益	4,967	3,311	+1,655	+50.0%
売上高営業利益率	3.6%	3.5%	+0.1P	-
経常利益	5,036	3,948	+1,088	+27.6%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	4,395	2,815	+1,579	+56.1%

## 1-2. セグメント別実績

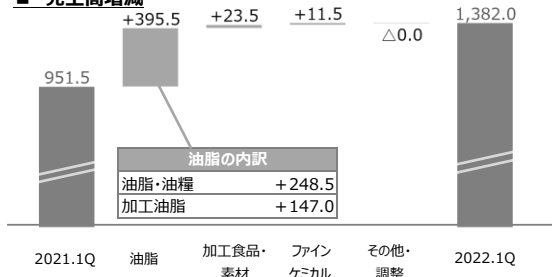
単位：百万円

	2022年度 第1四半期	2021年度 第1四半期	前年同期比	
			増減額	増減率
売上高	138,224	95,175	+43,048	+45.2%
油脂	116,930	77,383	+39,546	+51.1%
油脂・油糧	84,611	59,779	+24,832	+41.5%
加工油脂	32,318	17,604	+14,714	+83.6%
加工食品・素材	15,441	13,096	+2,344	+17.9%
ファインケミカル	5,235	4,052	+1,182	+29.2%
その他・調整	617	642	△25	△3.9%
営業利益	4,967	3,311	+1,655	+50.0%
油脂	4,453	2,598	+1,854	+71.4%
油脂・油糧	2,041	1,309	+732	+55.9%
加工油脂	2,412	1,289	+1,122	+87.0%
加工食品・素材	66	440	△373	△84.9%
ファインケミカル	542	412	+129	+31.3%
その他・調整	△95	△140	+45	-

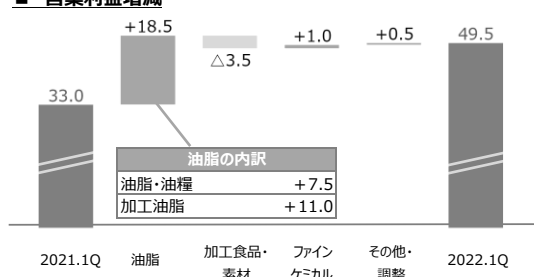
## 1-3. セグメント情報：売上高・営業利益の増減要因（対前年同期比）

単位：億円

### ■ 売上高増減



### ■ 営業利益増減



#### <売上高増減要因>

##### ○油脂

- 原料コスト上昇を受けた販売価格の改定（↑）
- 外食需要の回復に伴う業務用製品の販売数量増（↑）
- ホームユース製品の販売数量増（↑）
- ミールの販売数量増および販売価格の上昇（↑）

##### ○加工食品・素材

- チョコレート製品の販売数量増（↑）
- MCT製品の販売価格の改定（↑）
- 大豆素材・食品製品の販売価格の改定（↑）

##### ○ファインケミカル

- 原料コスト上昇に伴う販売価格の改定（↑）
- アルコール製剤の販売数量増（↑）

#### <営業利益増減要因>

##### ○油脂

- 油脂・油糧および加工油脂における原料コストの上昇（↓）
- 原料コスト上昇を受けた販売価格の改定（↑）
- 海外子会社の為替換算影響（↑）

##### ○加工食品・素材

- チョコレート製品における原価率の上昇（↓）
- ドレッシング等、調味料における原料コスト上昇（↓）
- MCT製品の原料コスト上昇および販管費の増加（↓）

##### ○ファインケミカル

- 原料コストの上昇に伴う販売価格の改定（↑）
- 原料コストの上昇および新工場稼働に伴う減価償却費負担増（↓）

1-4. セグメント情報詳細

単位：百万円  
増減額は前年同期比

油脂（うち油脂・油糧）

	売上高		営業利益 増減額	コメント
	実績	増減額		
国内油脂	50,777	+17,138	+678	・原料代高騰等に伴う油脂販売価格の改定、業務用製品およびホームユース製品の販売数量増、ミール販売における数量増および価格上昇により増収増益。
業務用・加工用	31,849	+11,968		
ホームユース	18,927	+5,169		
ミール	24,715	+5,826		
子会社	21,284	+4,615	+183	
連結調整 他	△12,165	△2,747	△129	
油脂・油糧 計	84,611	+24,832	+732	

※業務用・加工用およびホームユースの売上高は、国内油脂売上高の内数

補足：国内油脂に占める付加価値品

売上高構成比	売上高増減額
17%	+503

補足：国内油脂の営業利益増減額の内訳

単位：億円

	増減額	主な要因
販売数量要因	+4.5	業務用・加工用（+1.5）、ホームユース（+3.0）
販売単価要因	+149.5	業務用・加工用（+113.5）、ホームユース（+36.0）
コスト要因	△140.0	
大豆	△29.5	C&F（△35.5）、為替（△23.0）、ミール販売（+29.0）
菜種	△81.5	C&F（△76.0）、為替（△18.0）、ミール販売（+12.5）
その他商品・製造費	△29.0	パーム油等のコスト上昇 等
販管費・その他	△7.0	
合計	+7.0	

単位：百万円  
増減額は前年同期比

油脂（うち加工油脂）

	売上高		営業利益 増減額	コメント
	実績	増減額		
海外加工油脂	35,091	+17,484	+1,268	・販売価格の上昇により増収。 ・原料コストの上昇による減収要因があったが、チョコレート用油脂の販売数量増、販売単価上昇に加えて、パーム油取引の時価評価（前期+13.5億円、当期+14.5億円）、円安進行による為替換算影響により増益。
欧州	15,302	+8,890		
アジア	17,408	+7,199		
その他地域	2,380	+1,395		
国内加工油脂	2,962	+733	△201	・販売価格の改定により増収も、原価上昇により減収
連結調整 他	△5,735	△3,504	+56	
加工油脂 計	32,318	+14,714	+1,122	

補足：海外加工油脂の販売数量増減率  
(増減率は前年同期比)

	販売数量増減率
海外加工油脂	△8%
欧州	+2%
アジア	△17%
その他地域	+24%

補足：海外加工油脂に占める  
チョコレート用油脂を中心とした  
スペシャルティファット

売上高構成比	販売数量増減率
32%	+14%

単位：百万円  
増減額は前年同期比

加工食品・素材

	売上高		営業利益 増減額	コメント
	実績	増減額		
チョコレート	7,951	+1,851	△50	・販売数量増により増収も、原価率の上昇により減収
調味料	1,288	+34	△31	・販売価格改定により増収も、原料コストの上昇により減収
機能素材・食品	1,863	+111	△167	・MCTの販売価格改定により増収も、原料コストの上昇および販管費の増加により減収
MCT	1,444	+166		
大豆素材・食品	5,416	+654	△108	・販売価格改定により増収も、原料コストの上昇等により減収
連結調整 他	△1,078	△306	△15	
加工食品・素材 計	15,441	+2,344	△373	

※MCTの売上高は機能素材・食品売上高の内数

単位：百万円  
増減額は前年同期比

ファインケミカル

	売上高		営業利益 増減額	コメント
	実績	増減額		
ファインケミカル製品	4,192	+1,171	+125	・販売価格の改定および子会社における販売数量増により増収増益
環境・衛生	1,848	+190	△7	・販売数量増も、原材料価格の高騰により増収減収
連結調整 他	△804	△179	+11	
ファインケミカル 計	5,235	+1,182	+129	

※化粧品原料の売上高はファインケミカル製品売上高の内数

補足：化粧品原料

売上高	増減額
2,410	+590

主な換算為替レート（期中平均レート）

	円/USD	円/EUR	円/MYR	円/CNY	円/IDR
2021年度第1四半期	109.52	131.94	26.10	16.96	0.0076
2022年度第1四半期	129.73	138.26	29.85	19.61	0.0089

## 2. 2022年度業績見通し

### 2-1. 2022年度業績予想

単位：百万円

	2022年度 見通し	2021年度 実績	前期比	
			増減額	増減率
売上高	500,000	432,778	+67,221	+15.5%
営業利益	13,000	11,670	+1,329	+11.4%
経常利益	13,300	12,648	+651	+5.1%
親会社株主に帰属する 当期純利益	9,200	8,595	+604	+7.0%

### 2-2. 2022年度セグメント別見通し

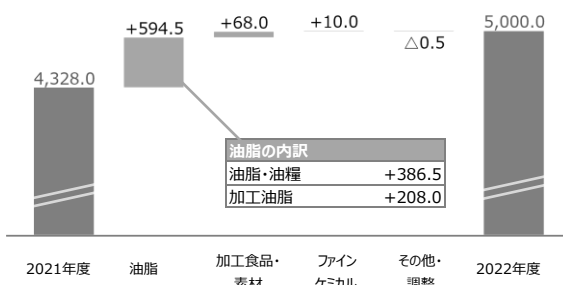
単位：百万円

	2022年度 見通し	2021年度 実績	前期比	
			増減額	増減率
売上高	500,000	432,778	+67,221	+15.5%
油脂	414,500	355,026	+59,473	+16.8%
油脂・油糧	306,500	267,840	+38,659	+14.4%
加工油脂	108,000	87,186	+20,813	+23.9%
加工食品・素材	65,000	58,185	+6,814	+11.7%
ファインケミカル	18,000	17,003	+996	+5.9%
その他・調整	2,500	2,563	△63	△2.5%
営業利益	13,000	11,670	+1,329	+11.4%
油脂	11,050	8,975	+2,074	+23.1%
油脂・油糧	8,400	4,716	+3,683	+78.1%
加工油脂	2,650	4,258	△1,608	△37.8%
加工食品・素材	1,200	1,672	△472	△28.2%
ファインケミカル	1,150	1,336	△186	△14.0%
その他・調整	△400	△314	△85	-

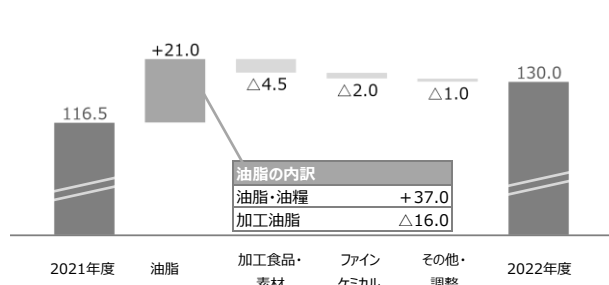
### 2-3. セグメント情報：売上高・営業利益の増減要因 通期見通し（対前期比）

単位：億円

#### ■ 売上高増減



#### ■ 営業利益増減



#### <売上高増減要因>

- 油脂
  - ・更なる原料コスト上昇を受けた油脂販売価格の改定（↑）
  - ・外食需要の回復に伴う業務用製品の販売数量増（↑）
  - ・ホームユース製品の販売数量増（↑）
  - ・ミールの販売数量増および販売価格の上昇（↑）
- 加工食品・素材
  - ・国内外での新規開拓等によるチョコレート製品の販売数量増（↑）
  - ・ドレッシング等の調味料の販売数量増および販売価格の改定（↑）
  - ・MCT製品の販売数量増および販売価格の改定（↑）
  - ・連結子会社売却に伴う売上の減少（↓）
- ファインケミカル
  - ・化粧品原料の販売価格の改定（↑）
  - ・ファインケミカル製品および衛生製品の販売数量減（↓）

#### <営業利益増減要因>

- 油脂
  - ・更なる原料コスト上昇を受けた油脂販売価格の改定、販売数量増（↑）
  - ・油脂・油糧および加工油脂における更なる原料コストの上昇（↓）
  - ・パーム油取引の時価評価益の減少（↓）
- 加工食品・素材
  - ・チョコレート製品の販売数量増および利益率の高い製品の販売数量増（↑）
  - ・更なる原材料価格高騰に伴う調味料、MCT製品、大豆関連製品における原価上昇（↓）
  - ・連結子会社売却に伴う利益の減少（↓）
- ファインケミカル
  - ・化粧品原料の販売価格の改定（↑）
  - ・原材料価格高騰に伴うファインケミカル製品の原価上昇（↓）
  - ・新工場稼働に伴う減価償却費負担増（↓）

■ シカゴ大豆相場



出典：Bloomberg

■ ICE菜種相場



出典：Bloomberg

■ パーム原油相場



出典：Bloomberg

■ 為替相場 (円/ドル)



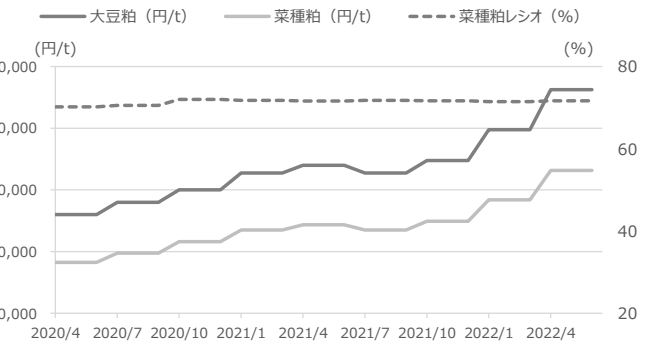
出典：Bloomberg

■ ミールバリュー推移



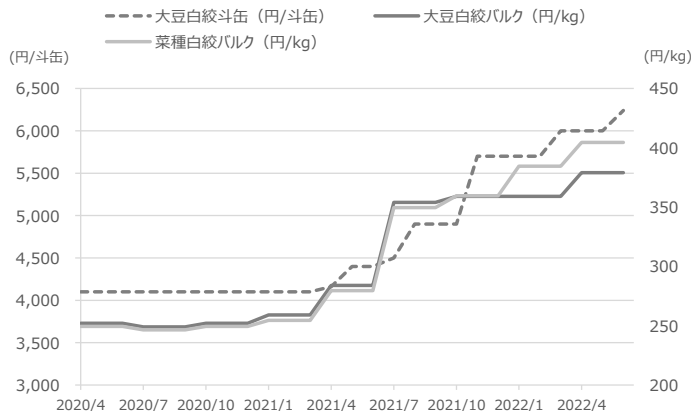
出典：Bloomberg

■ ミール業界平均価格



出典：油脂特報

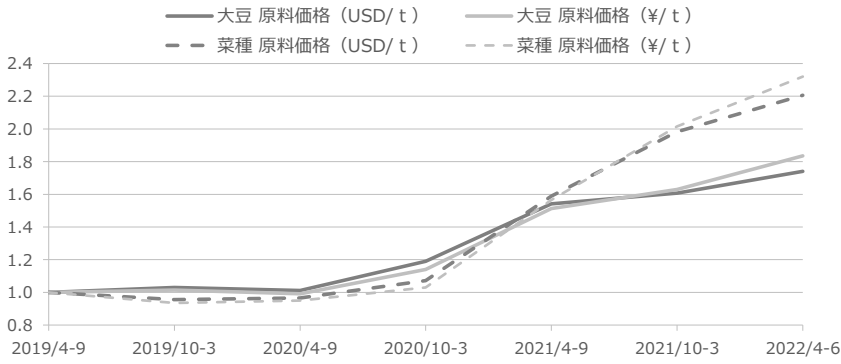
■ 日経市中相場 (業務用斗缶)



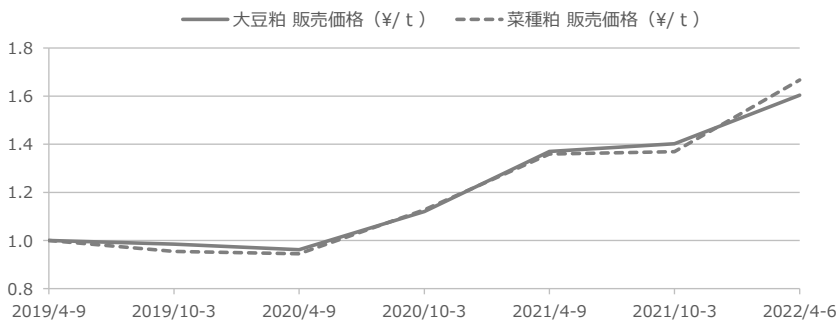
出典：日経新聞

※2019年4-9期を1とした指数  
出典：日清オイリオグループ(株)の数値

■ 原料（大豆・菜種）



■ 油粕（大豆・菜種）



■ 油脂主要商品の販売価格（ギフトを除く、加重平均単価）

